

第2回 2010年代のケーブルテレビの在り方に関する研究会資料  
J:COMについて

株式会社ジュピターテレコム  
代表取締役社長 最高経営責任者  
森泉 知行

2006年3月30日

# 項目

---

1. 会社概要
2. J:COMの強み
3. 新サービス
4. 今後の課題



# 1. 会社概要

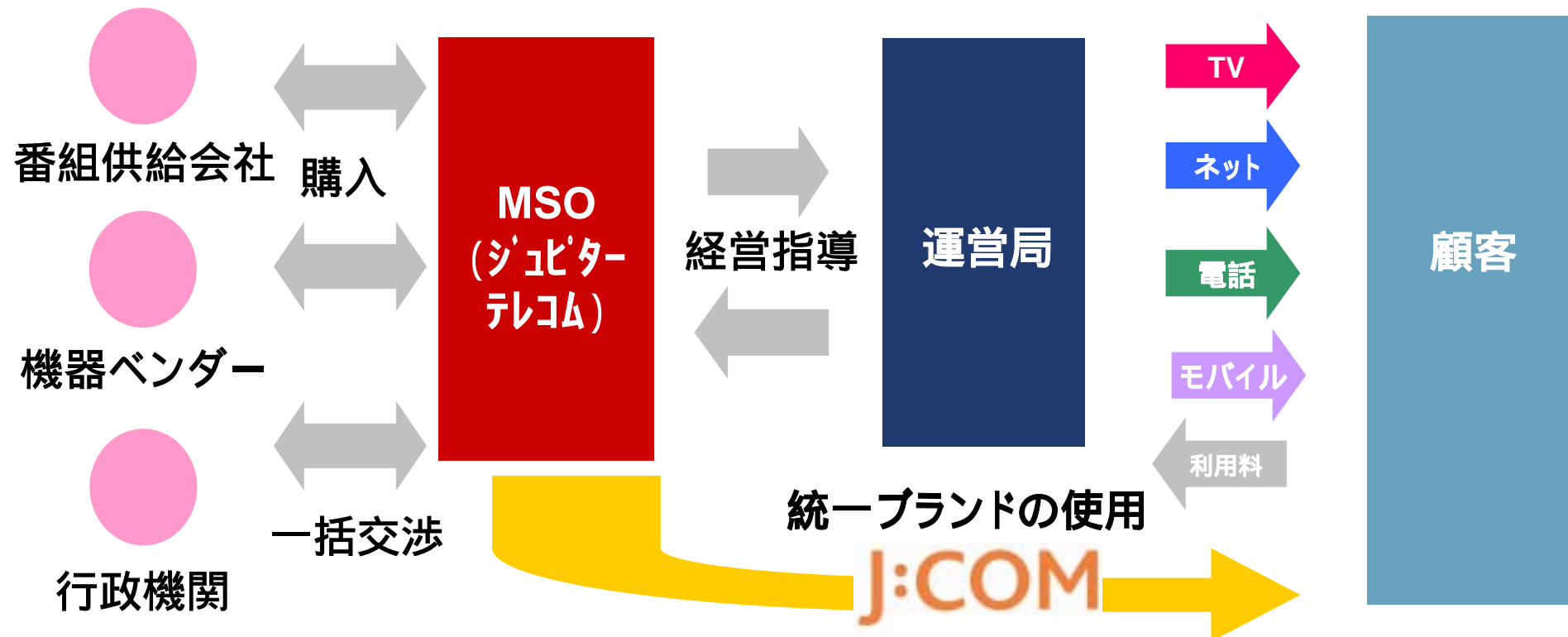
# 会社概要

- 会社名: 株式会社 ジュピターテレコム  
Jupiter Telecommunications Co., Ltd.
- ブランド: J:COM
- 設立: 1995年1月18日
- 代表者: 代表取締役社長 最高経営責任者  
森泉 知行
- 従業員数: グループ総計 6,784名 (2005年12月31日現在)
- 運営会社: 20社 (2006年3月30日現在)

日本最大のケーブルテレビ局統括運営会社 (MSO)

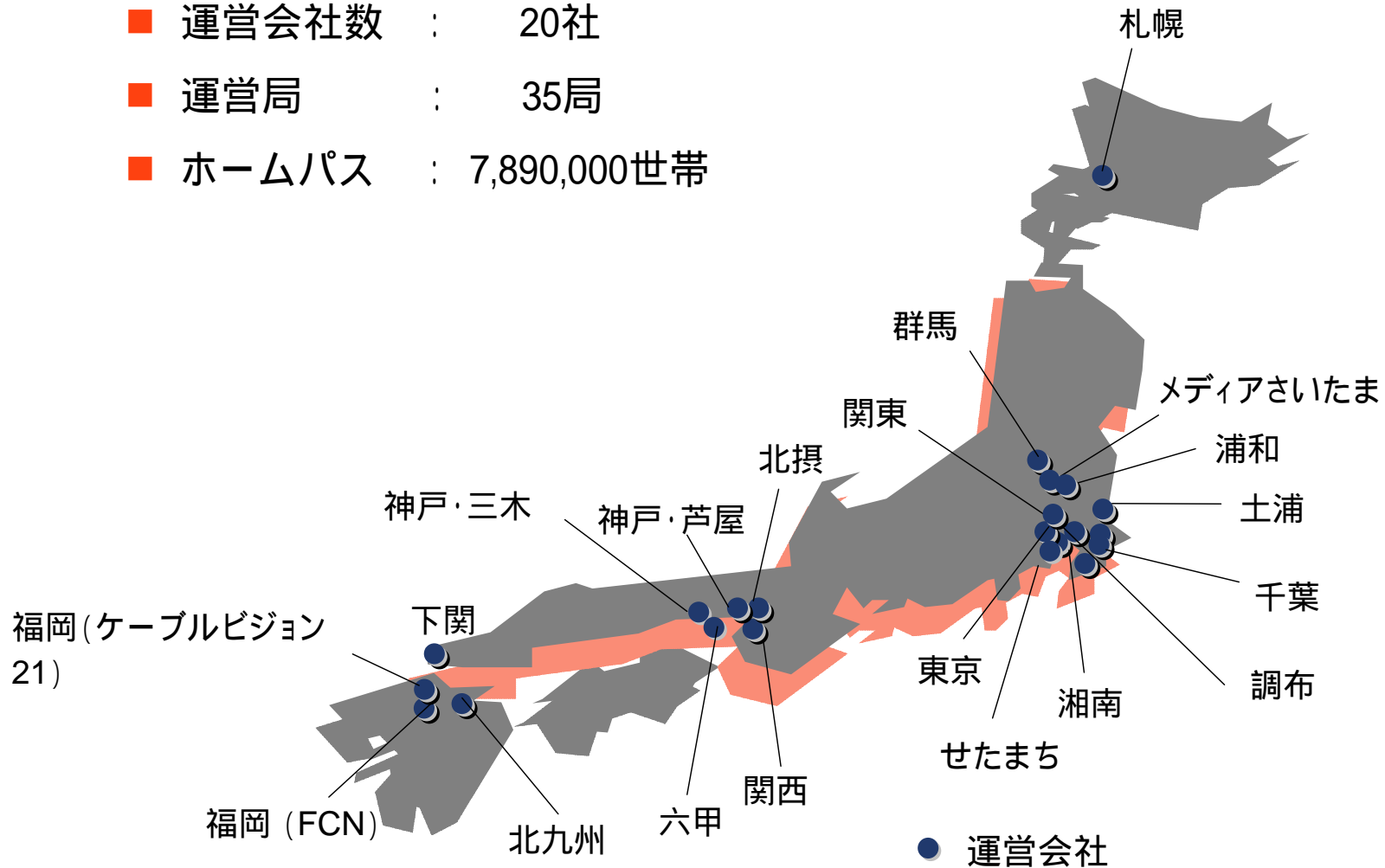
# ケーブルテレビ統括運営会社(MSO)の機能

- 戦略機能: 事業・商品・営業・技術・IT・財務・人事等の戦略策定
- 効率的な運営: 統一ブランド・規模の経済(新技術導入、顧客対応、価格交渉力等)



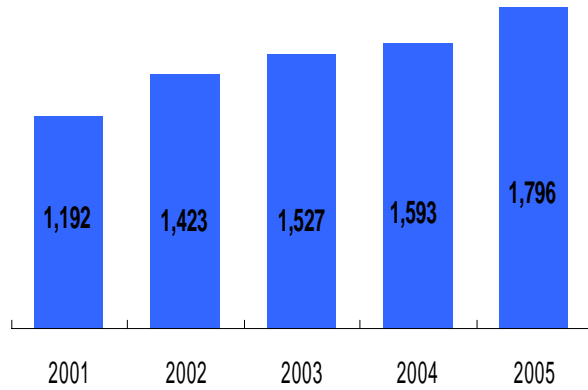
# サービスエリア

- 運営会社数 : 20社
- 運営局 : 35局
- ホームパス : 7,890,000世帯

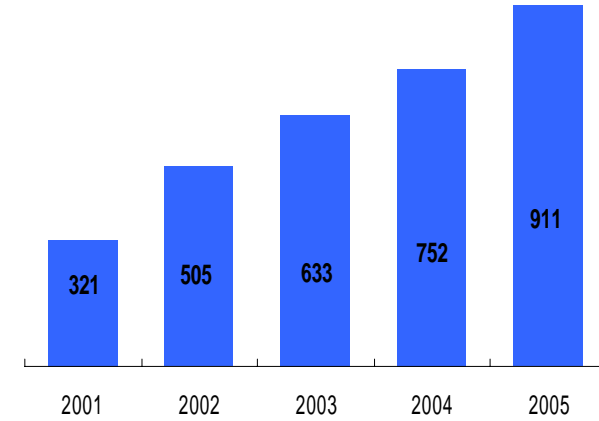


# 加入世帯数推移 (2005年12月末現在)

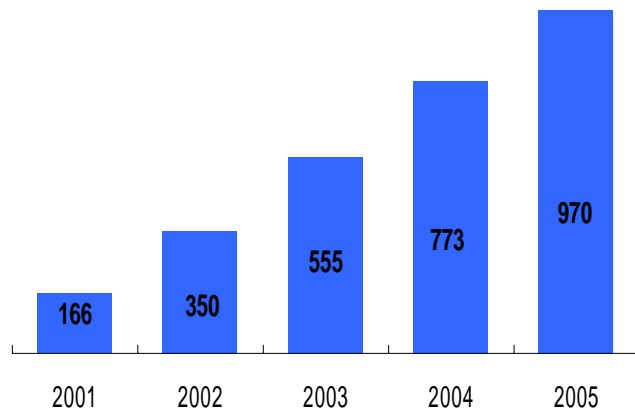
## ケーブルテレビ



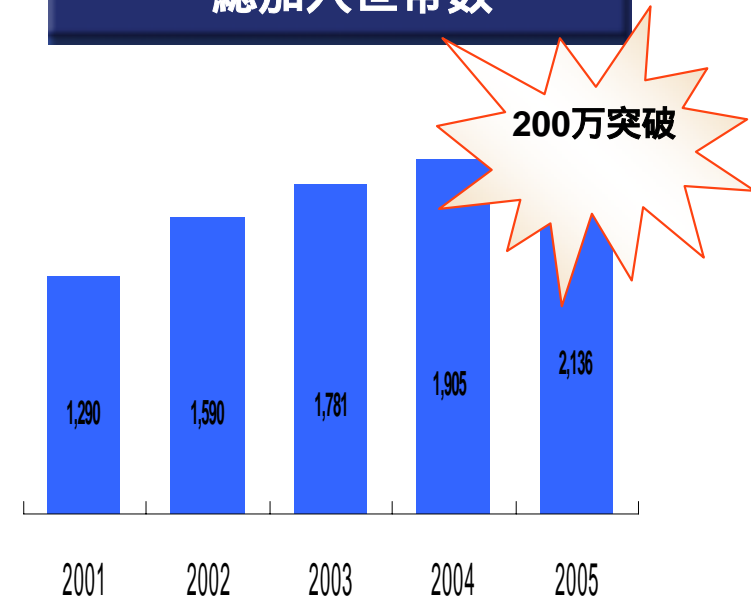
## 高速インターネット接続



## 電話



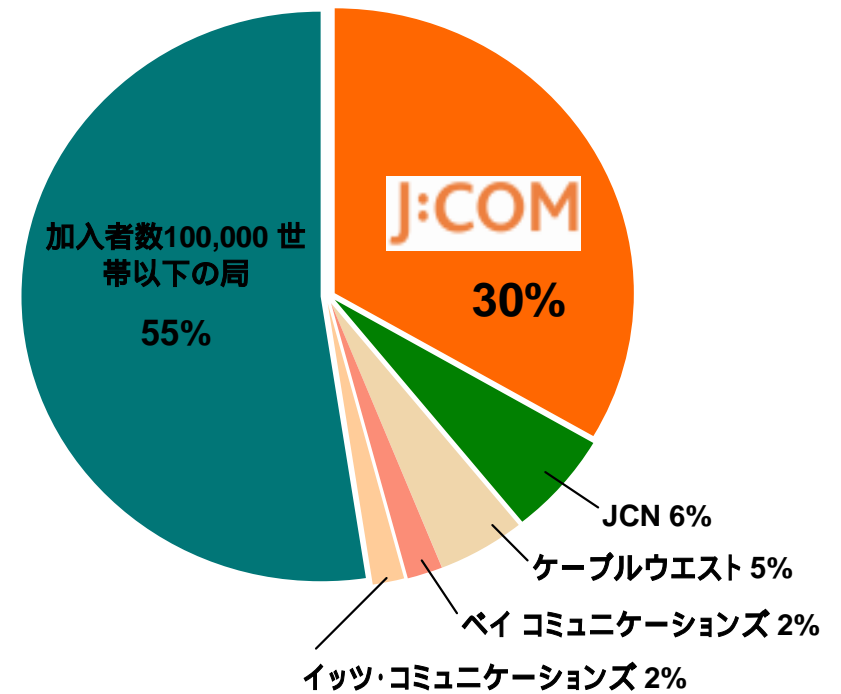
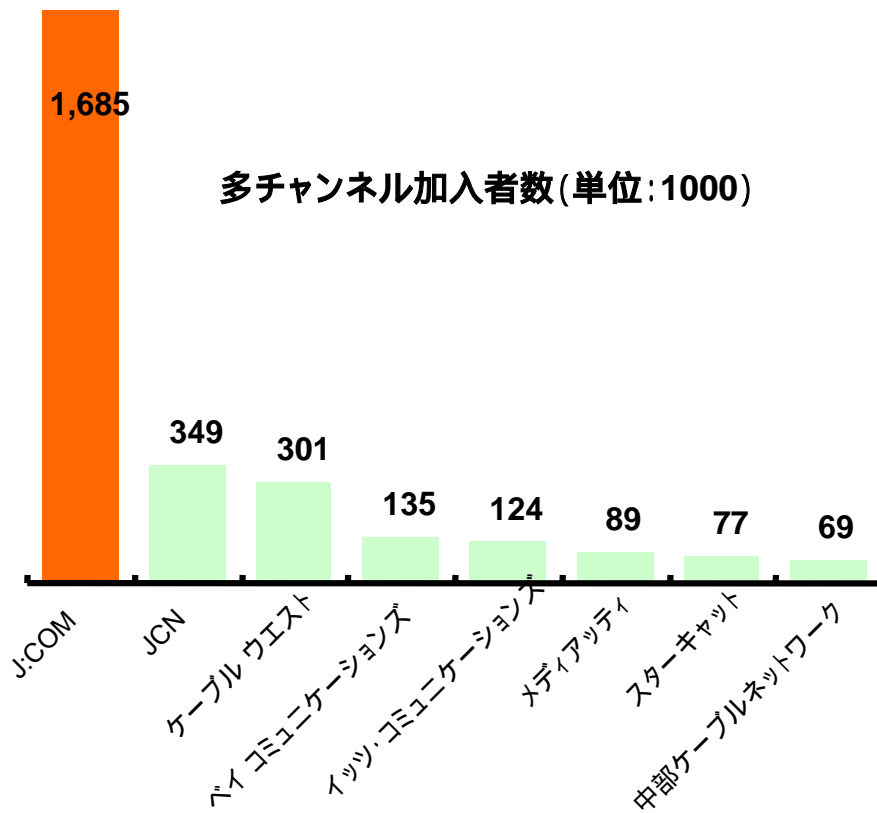
## 総加入世帯数



# J:COMのマーケットシェア

## 他MSOとの比較

## マーケットシェア



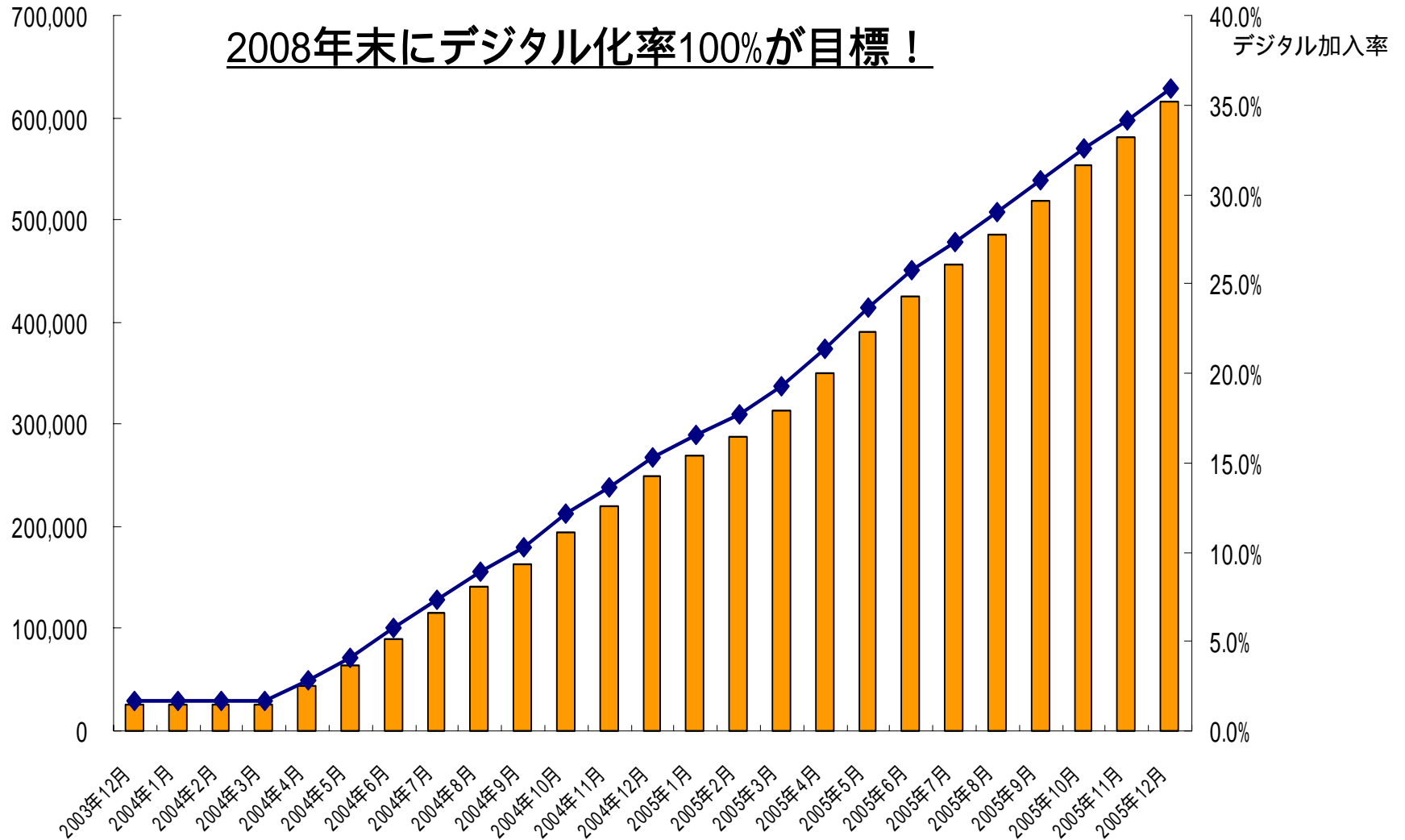
2005年9月末現在



# デジタルサービス加入世帯数推移

2004年12月末      2005年12月末  
 デジタル加入率      デジタル加入率  
**243,500 世帯 15%**      **650,700 世帯 36.2%**

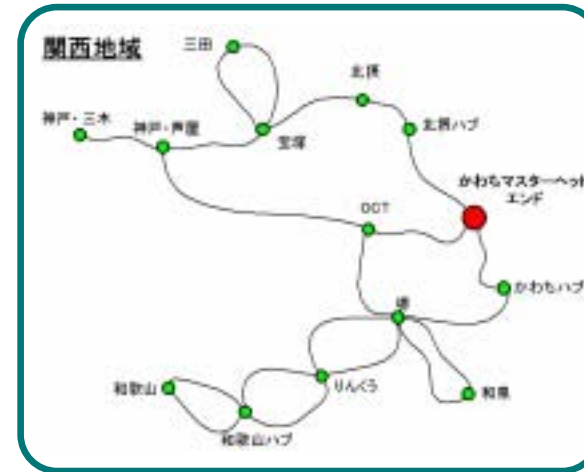
J:COM TVデジタル  
累積加入者数



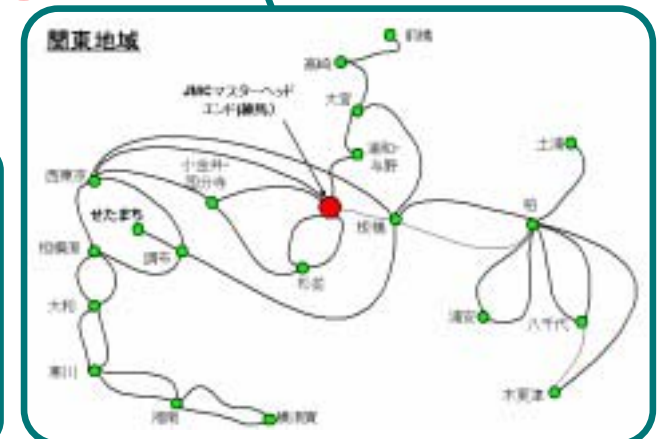
\* 2001-2004年, 調布局は運営局に含めず。2005年よりJ:COM調布として運営局に加わった。

# アップグレード完了済の大容量ネットワーク

- 750/770 MHz の広帯域HFCネットワーク
- ノードまではファイバーを活用 (FTTN)
- 高品質で経済的な  
    ブロードバンドネットワーク
- 下り約3Gbpsの容量  
    (30Mbps × 100CH相当)
- 100%双方向化
- 冗長性、拡張性のあるシステム
- JDSの全国光伝送ネットワークを  
    ケーブルデジタルCHの伝送に活用



札幌



## ● ● 2. J:COMの強み

# 高品質なサービスをバンドル化

トリプルプレーからグランドスラムへ！

高速インターネット接続

ケーブルテレビ

電話



J:COM NET

高速・安定・セキュリティ



J:COM TV

デジタル・ハイビジョン  
・双方向・1 BOX



J:COM PHONE

信頼性の高い  
プライマリー電話

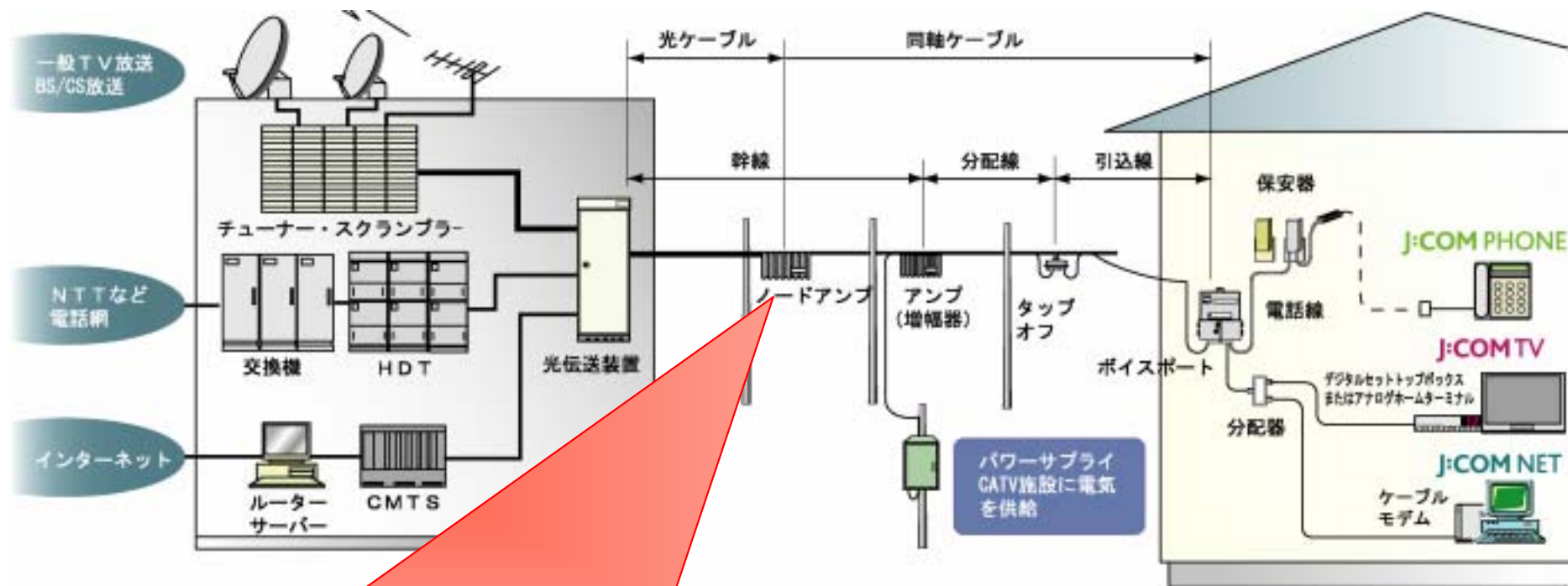
グランドスラム・サービス



J:COM MOBILE  
powered by WILLCOM

モバイル

# 高品質のブロードバンドネットワーク



- ・ HFCネットワークは、約3Gbpsのパフォーマンスを持つ。
- ・ 最新のケーブルモデム規格である「DOCSIS 3.0」では1Gbps程度までのインターネットサービスを理論上提供可能。
- ・ 将来、IP映像サービスの提供が可能。

# 唯一の完全なグランドスラムプレイヤー

	J:COM	A社	B社	C社	D社	E社	
ネットワーク	HFC	FTTH (ADSL)	ADSL (FTTH)	FTTH	FTTH	DTH	FTTH
伝送方法	RF	IP	IP	IP	RF	RF	RF
地上デジタル放送 (HD)	✓				✓		( ✓ )
BSデジタル放送 (HD)	✓				✓		( ✓ )
CSデジタル放送 (一部HD)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ローカルコミュニティチャンネル	✓						
EPG	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
PPV	✓					✓	✓
VOD	✓	✓	✓	✓			
DVR	✓						
インタラクTV	✓						
高速インターネット	✓	✓	✓	✓	✓		✓
プライマリー電話	✓	✓		✓	✓		✓
モバイル	✓	✓	( ✓ )	✓			
パッケージ割引	✓		✓	✓	✓		

# ファミリーをターゲットにしたシンプルな商品構成

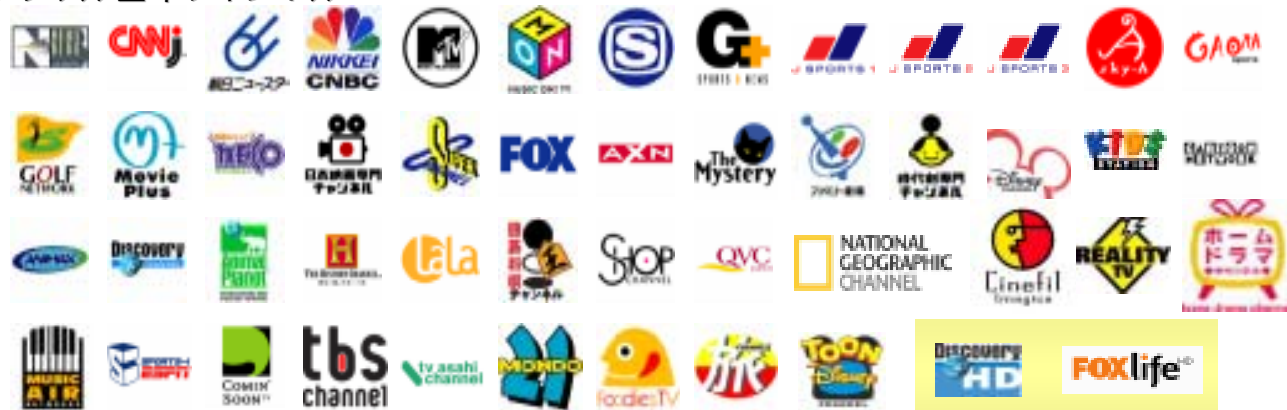
地上デジタル放送



BS デジタル放送



デジタル基本チャンネル



EPG (電子番組表) サービス

ペイ・パー・ビューサービス J:COM オン デマンドサービス



## シンプル・ベストな デジタルパッケージ

- 全プラットフォーム (地上・BS・CS)
- 高画質・高音質 (ハイビジョン)
- 双方向サービス
- J:COM 独自サービス

デジタルプレミアチャンネル



注: 黄色の枠組みは、ハイビジョンチャンネル

# “デジタルをアナログで売る”

## ■ 地域密着型ダイレクトセールスの強み

- ✓ 地域に根ざした営業スタッフによる戸別訪問営業
- ✓ Face to Face コミュニケーション
- ✓ きめ細かいカスタマーサービス
- ✓ 防犯パトロールなど地域への貢献



## ■ 地域コミュニティとの良好な関係

- ✓ 地域密着型コンテンツ
  - 交通・災害情報の提供
  - 地域に根ざした番組作り
- ✓ 地方公共団体との強い結びつき

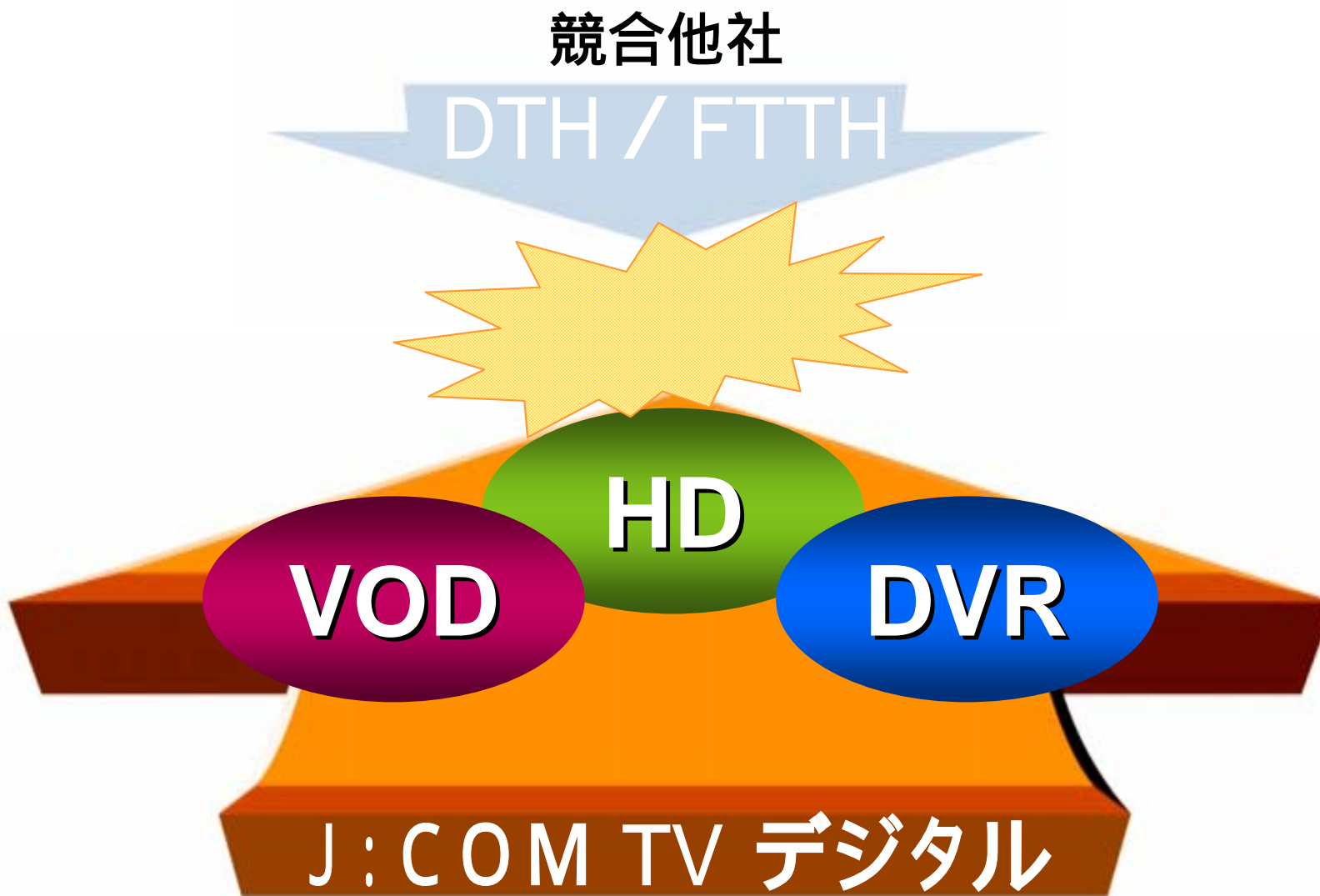




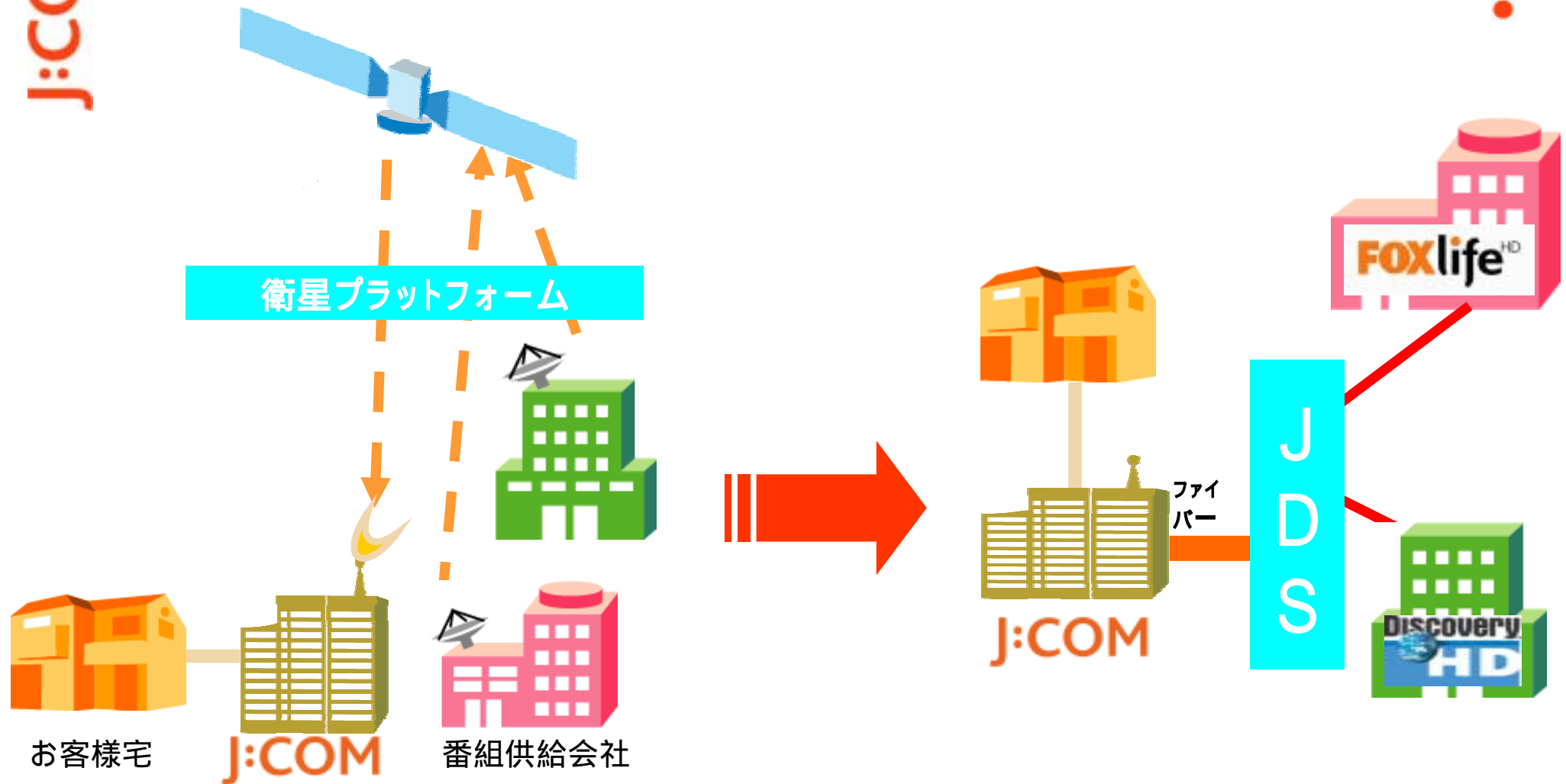


# 3. 新サービス

# J:COM TV デジタルの3本柱



# HDチャンネルを増強 (地上系光伝送ネットワークの活用)



- ✓ DTHと同一コンテンツ
- ✓ 番供にとって高額なトラポン利用料
- ✓ 天候に画像が左右される(降雨減衰)

- ✓ ケーブルテレビ独自コンテンツの提供が可能 (HDチャンネル他)
- ✓ 天候に左右されない安定した画質

# VODサービス概要 (J:COM オン デマンド)

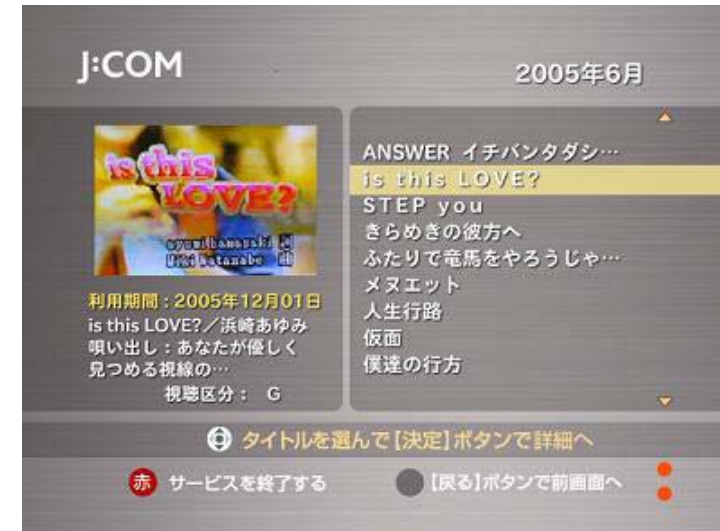
## 利便性

- ✓ ワンボックス・ソリューション
- ✓ オン・デマンド機能
- ✓ トリックプレイ機能
- ✓ レジューム機能

## 魅力的なコンテンツ

- ✓ プレミアム・オン・デマンド  
最新の洋画/邦画/ドキュメンタリー
- ✓ マンスリー・オン・デマンド  
月額固定料金 (カラオケ、映画等)
- ✓ フリー・オン・デマンド  
VODサービス入門用無料コンテンツ  
(ローカル情報、行政情報、趣味・教養、Jリーグ、インフォマーシャル等)

## J:COM オン デマンド



デジタルセットトップボックス

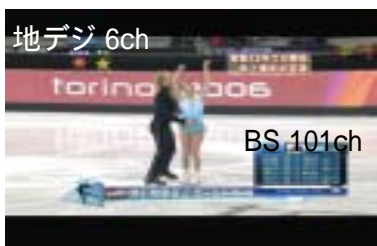
# DVRサービス概要(「HDR」)

## <仕様>

- 250GB ハードディスク
- HD/SD デコーダー
- ダブルチューナー
- C-CAS/B-CAS 搭載
- シームレスEPG
- IEEE 1394搭載

## <特徴>

- 地上デジタル・BSデジタル・ケーブルデジタル放送に対応
- デジタル録画機能による高画質・高音質
- HD録画対応(最大20時間)
- 裏録画機能
- EPGによる簡単録画予約
- タイムシフト機能
- お手頃な月額料金制(プラス800円)



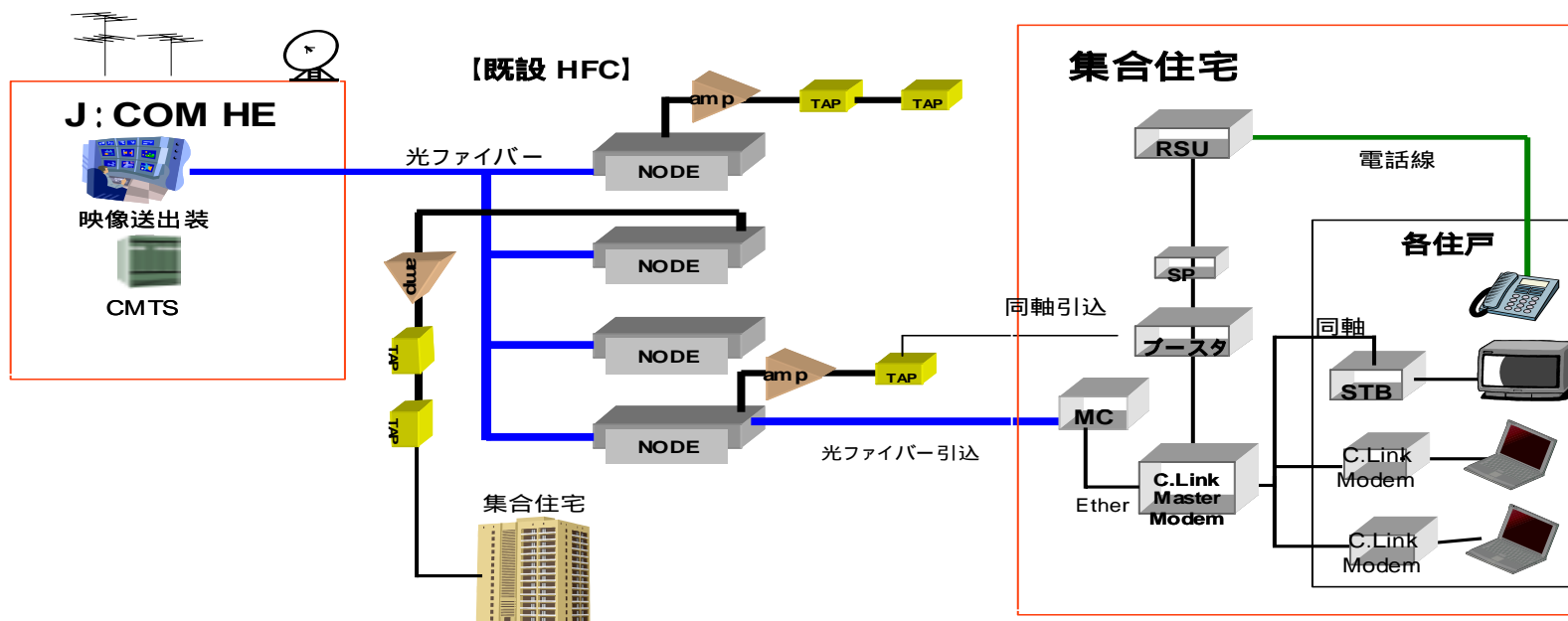
# インタラクTVサービス概要

地域/行政情報をオンデマンドにて提供！



# 100Mbpsサービス概要(「J:COM NET 光」)

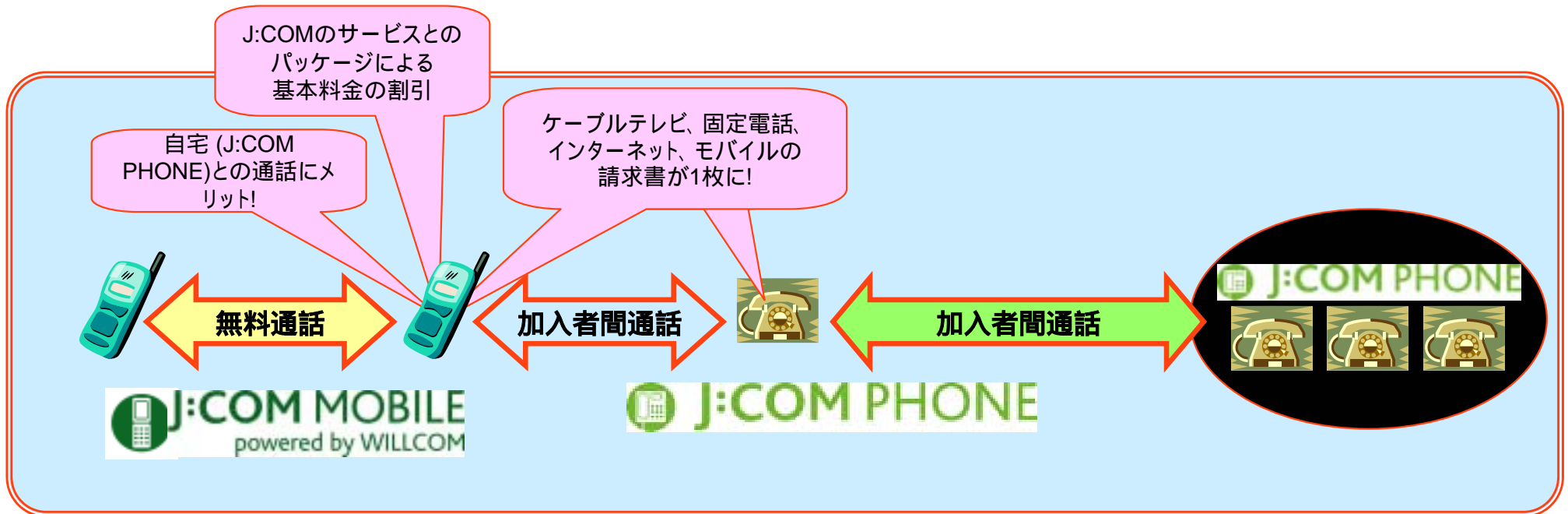
- 最大で上り・下り100Mbpsの高速インターネット接続サービス
- 大型集合住宅を対象に提供開始
- 既存のHFCネットワークを拡張して集合住宅までFTTHで接続(FTTB)
- 集合住宅棟内はc.LINK技術を利用して同軸ネットワークを活用
- 戸建・中小規模集合住宅にはDOCSIS3.0にてサービス提供予定



# J:COM MOBILE の概要

## 本格的な「固定とモバイルの融合サービス」への第一歩

- ウィルコムサービスを「J:COMブランド」により提供
- J:COMサービスとのバンドル契約による基本料のパッケージ割引
- 固定電話(J:COM PHONE)との相互の優遇通話料金体系の導入
- 2006年3月よりサービス提供開始







## 4. 今後の課題

## 今後の課題

---

- 地域密着型営業/カスタマーサービスのさらなる強化
- 地域密着型コンテンツのさらなる充実
- 2011年に向けた地上デジタル放送の普及促進
- 帯域を有効活用するためのアナログサービスの早期廃止
- 既存SDチャンネルのHD化
- VODサービスの高度化
- モバイル・ユビキタス系サービスの拡充
- IP化への取り組み
- 超高速インターネットサービスの提供

# 帯域割り当ての中・長期的戦略

## < 帯域削減 >

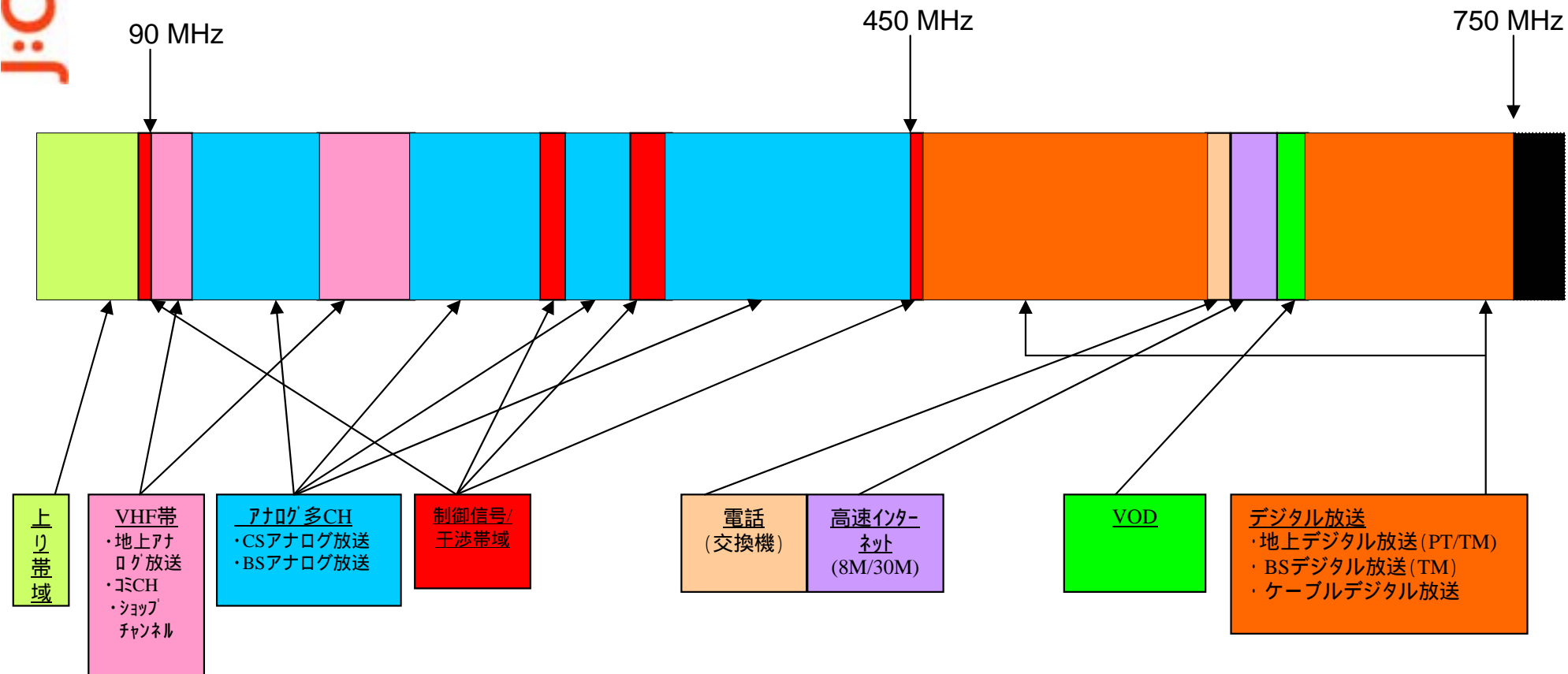
- 統計多重の導入
- デジタルSTBへの移行に伴うCSアナログCH全面廃止
- 地上アナログ放送停止
- BSアナログ放送停止
- H.264導入
- 交換機ベース電話サービス停止
- 8M/30M高速インターネットサービス停止

## < 新サービス >

- デジタルコミCH (OFDM・64QAM)
- 追加HDチャンネル
- VODの高度化 (HD/NDRなど)
- IPTV (H.264) レガシーシステムからのマイグレーション
- 超高速インターネット (DOCSIS3.0)
- プライマリーVOIP レガシーシステムからのマイグレーション
- FMC
- … など

\* 上り帯域の拡張も検討中

# 2006年3月現在の周波数利用状況



## デジタル化率100%が達成されれば

- 追加HDチャンネル
- VODの高度化サービス (HD・NDRなど)
- IPTV (H.264)
- 超高速インターネット (DOCSIS 3.0)
- プライマリーVoIP
- FMC

等の新サービスに  
活用可能

